

単元	等差数列	
目標	ア、等差数列の意味・一般項の求め方。 イ、等差数列の和の求め方が理解出来る。	
本時の到達度別目標	A目標	初項 a、公差 d の等差数列のある項を求めることが出来る。 ex 初項 3、公差 2 の等差数列の第 3 項 a_3 を求めよ。
	B目標	初項 a、公差 d の等差数列の一般項を求めることが出来る。 ex 初項 8、公差 -3 の等差数列の一般項 a_n を求めよ。
	C目標	ある 2 つの項より一般項を求めることが出来る。 ex 第 10 項が 13、第 25 項が -32 であるような等差数列の一般項を求めよ。

本時の授業過程

過程	指導内容	下位目標 行動	学 習 活 動			時 間 態 勢	資 料 機 器	指 導 上 の 留 意 点	
			A 系 列	B 系 列	C 系 列			一般的留意点	系列別留意点
導 入	本時の学習 目標を確認 させる	○本時の目 標が確認 出来る	START 本時のねら いの確認	TP4		一 斉 5分 8:35	OHP	○TP4の意 味する所を 理解させる	
展 開	等差数列の 意味を説明 する 等差数列を 1つの関数 に対応させ る 等差数列 の練習問題	○初項 a に 一定の数 (公差) d を次々 と加えて いったも のを等差 数列とい う事を理 解出来る ○初項 a } ○公差 d } $a_n =$ $a + (n-1)d$ がわかる	等差数列の 意味 初項・公差 より一般項 を導き出す 初項・公差 ある項	TP5 補説(ア)		一 斉 個別 40分 9:15	OHP ○ABCテ スト ○手作 り回答 器	○等差数列・ 公差 d の新 しい用語 ○等差数列を 関数として とらえさせ る ○ $y=f(x)$ において $x=n$ の値と 各項を対応 させる ○そこより一 般項を導き 出す	○A…帰納的 に導き出せ る事→補説 (ア) ○B…関数と してとらえ させる→補 説(イ) ○C…式化さ せ連立方程 式をとく→ 補説(ウ)
終 末	本時のまとめ 次時の予告 をする	○本時の目 標がまとめ られる	本時のまとめ 次時の予告 END			一 斉 5分 9:20	板 書	○初項・公差 が決まれば 一般項が決 まる	